令和６年８月１日発行
発行責任者　萬矢勝保

大牟田 ちゅうおう

まち協だより

第２０号

令和６年５月23日(木)大牟田中央地区公民館において、令和５年度定期総会を開催しました。令和５年度の事業報告・収支決算報告ならびに監査報告が承認され、令和６年度の事業計画ならびに予算も承認されました。今年度は新しくコミュニティーセンターが旧上官小学校跡に建設され地域活動の拠点となります。以下は大牟田中央校区まちづくり協議会会長挨拶ならびに役員のご紹介です。

「ごあいさつ」



大牟田中央校区まちづくり協議会
会長　萬矢　勝保

大牟田中央校区内にお住まいの皆さん今日は。大牟田中央校区まちづくり協議会会長の萬矢勝保（ヨロズヤカツヤス）と申します。

新年早々より能登半島地震・羽田空港事故等が発生し、令和６年度はどうなるかと心配していましたが、その後大きな事故も無くホットしております。

定期総会も無事に終了し、新執行部体制も決まり令和６年度がスタート。月日が経つのは早いもので２０１６年４月にまちづくり協議会を設立し８年目に入りました。

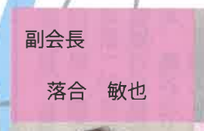
地域も広範囲、行事開催時における参加者集い等、多くの苦労もありましたが各部会長を始め運営委員・地域の皆様方のご協力により何とか推進することができ、協議会を代表して感謝申し上げます。

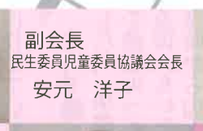
ここ数年、残念ではありますが、運動会・敬老会の開催が出来ておりません。地域の皆様方よりお知恵なりヒントなりをお貸し頂ければ幸いに存じます。本年度も各部会長を中心として、数多くの催し物を検討しておりますので校区内の多数の参加をお待ち申し上げております。

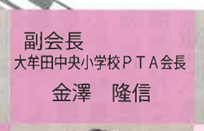
おかげさまで、校区内の小・中学校とのスムーズな連携も整備されていると実感しております。また、PTAとの和（輪）も図られていると思っています。校区内の子ども達の元気な姿を拝見しておりますと、エネルギーを貰った気分になり活力が沸いてきます。

高齢者の方も多数おられますので、交通事故には十分注意を図って下さい。気候変動もあり災害もいつ起こるか分かりません。安心・安全対策を怠りなくお願い申し上げます。

最後になりますが、地域で何か困り事等がございましたらご一報下さい。微力ではありますがお力添えが出来ればと思います。


副会長
落合　敏也

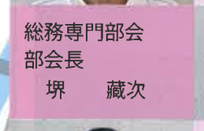

副会長
民生委員児童委員協議会会長
安元　洋子

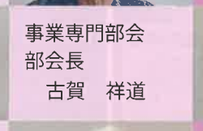

副会長
大牟田中央小学校ＰＴＡ会長
金澤　隆信

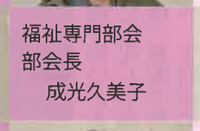

事務局長
前山　剛


事務局長
補佐
上野　光己


会　計
木村　好夫


総務専門部会
部会長
堺　藏次


事業専門部会
部会長
古賀　祥道


福祉専門部会
部会長
成光久美子


安心安全
専門部会
部会長
岡本　公明


環境美化
専門部会
部会長
古庄　博


共働部会
副部会長
森　千恵子


監　査
彌永　峰子


監　査
木村　敬典

主な行事

- グランドゴルフ大会　5月・11月・3月
- 上官ロータリー清掃　4月・7月・11月
- 敬老事業　9月
- 親睦バス旅行　11月
- おおむたクリーンキャンペーン　6月・10月
- SOSほっと安心模擬訓練　11月
- ファミリー「ふれあいウォーク」　3月
- 健康力アップ推進事業　10月・3月
- 赤い羽根共同募金　10月
- 歳末たすけあい募金　12月
- サロン活動　随時
- みんなの祭り　8月
- 中央フェス　2月
- 子ども食堂　毎月
- 地域一斉清掃　6月・10月
- 大牟田川清掃　7月・10月
- 地域福祉大会　2月
- 地域コミュニティー研究大会　2月
- 献血　6月
- 見守り隊、青パト巡回活動　随時

令和６年度予算

収入

前年度繰越金	707,932
運営交付金(基礎部分)	900,000
校区活性化事業交付金	500,000
運営交付金(地縁団体)	1,150,000
社協交付金	680,000
リサイクル還元金	1,150,000
地域提案型交付金	350,000
その他の収入	363,000
利息	18
合計	5,800,950

支出

地縁団体運営費(各公民館運営費)	1,100,000
役員手当	375,000
行動活動費	50,000
運営委員会(出席費)	230,000
市の行事(出席費)	100,000
総務部会費	395,000
事業部会費	1,045,000
福祉部会費	300,000
共働部会費	600,000
安心安全部会費	200,000
環境美化部会費	150,000
その他経費	10,000
義援金・賛助金・負担金	70,000
活動助成金	170,000
親睦費	0
予備費	1,000,000
次年度繰越金	5,950
合計	5,800,950

＊予備費　1,000,000円はコミュニティーセンターの備品購入に充てる

こども食堂

毎月第3土曜日 11:30 ～ 13:00
築町「よらんかん」にて開催中

こどもは0円、おとなは200円（これが運営資金になります）















みんな食べに来てネ!!

見守り隊

登下校、いろんな交差点や横断歩道で子ども達の安全を見守ります





















青パトで校区内を登校時間に巡回しています

クリーン作戦

6月21日（金）16時から校区内の清掃活動を、7月7日（日）9時からは大牟田川の一斉清掃を行いました。大牟田川ではサッカーチーム（サマードラゴン）や三井化学社員の方々など総勢55名ほどに協力いただきました。



草刈り機も動員



集まったゴミの一部



宮浦公園脇の道路もすっきり







藪蚊に襲撃されながらも汗を流し。すっかり綺麗になりました



地域の声

コミュニティーセンター

令和7年2月には
旧上官小学校跡地に完成します。

旧上官小学校の跡地には県立の職業訓練施設、大牟田高等技術専門校が新設されます。また、大牟田中央校区住民の皆さま方の活動の拠点としてコミュニティーセンターも新設されます。沢山の方々の利用を応援します。



イメージ図です。実際とは異なります。

地域再発見

三池集治監跡（みいけしゅうじかんあと）

県立三池工業高校のある場所は、かつて刑務所でした。明治16年（1883）に三池集治監という名前で開設され、三池監獄、三池刑務所と二回改称されています。刑務所は昭和5年度(1930)で廃止。跡地に私立三井工業学校が亀谷町から移転、戦後県立に移管されました。昭和40年夏の甲子園で初出場初優勝し、全国に名をとどろかせた同校ですが、校地の東西にそびえる高い赤れんが塀が、刑務所の名残です。この塀のれんがは、記念グラウンド付近で囚人が採掘した粘土を用いて集治監内で製作したものです。

三池集治監には、多い時には2千人以上が収容され、主に三池炭鉱での採炭に従事しました。炭鉱内は労働環境が厳しく一般の作業者の確保が難しかったため、安定的に労働力を供給できる囚人労働が、官営当初の明治6年から投入されました。三池集治監ができる前は、三潴県（現福岡県の一部）、福岡県、佐賀県、長崎県、白川県（現在の熊本県）がそれぞれ監獄の出張所を歴木、亀谷などに置いて囚人を派遣しました。明治31年以降は宮原坑ですが、それまでは、大浦坑、七浦坑、宮浦坑、勝立坑に出役していたのです。

坑内で健康を害したり、事故によって命を失ったりする囚人もいたので、当時から囚人を坑内で働かせることへの批判がありました。一方、各県監獄の囚人に関しては「其の頃はのんきなもので夜は暇を貰って町を遊び歩いて居ました」とか、町まで飲料水を汲みに行った囚人が「桶に酒を入れて帰って行く様な事さへあった」といった談話も残されています。「囚徒は監獄内ではどうする事も出来なかったけれども、坑内に入る時だけは足の鎖がはずされ、暗いから看守の目を誤魔化して煙草を吸う事も、残飯で酒を作る事も出来て自由の身になる事が出来たので、大部分は自分から坑内作業を希望していました」との集治監看守の証言も残されています。



刑務所としての高い外塀



建設当時から残る石垣

大牟田市立図書館館長　山田元樹